



## 火山噴火比

# 物資支援、今後とも必要

## AMDA 避難所での活動報告 神倉さん

火山が噴火したフィリピンを支援のために訪れていた国際医療ボランティアAMDA職員的神倉裕太郎さん(27)〓岡山市〓が22日、岡山市内で活動報告を行った。

神倉さんは16〓21日にAMDAフィリピン支部のメンバーらと協力して活動。噴火した

タール火山のあるバタンガス州の避難所で、せっけんやマスク、おむつなどの約680セットを配ったほか、火山灰によってのどの痛みを訴える住民らの診療をサポートしたことを報告した。

神倉さんは、噴火活動がいつまで続くかわからず、避難が長引く恐れがあると説明。「避難所での生活が普段の暮らしに少しでも近づくと、食料や水に加えて日用品などさまざまな生活物資について

も支援が必要だと感じたと話した。

AMDAによると、タール火山は12日に噴火し、14万人以上が

避難するなど、市民生活に大きな影響が出ているという。

(山本恭子)